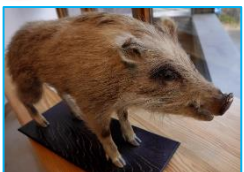


標本から学ぶイノシシの生態

イノシシの本当の姿を知りたい!と思っても、実際にじっくり観察する機会はありません。そこでここでは、奥多摩周辺で「標本」としてのイノシシが見られる場所をご紹介します。標本とは、自然界のものを観察や研究の目的で一部保存したもので剥製や骨格標本などもそれにあたります。生体の観察は大変難しく危険でもあることから、標本をじっくり観察することで、その姿をより身近に感じられ、詳しく知ることができましょう。

日原 森林館



メス2頭、ウリ坊1頭の剥製が見られる。生きているような躍動感のある剥製の姿に注目!

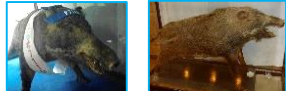
奥多摩駅周辺

奥多摩ビジターセンター



オスの頭骨の骨格標本がある。実際に触って骨の重さや歯の位置を見てみよう!

奥多摩消防署 三河屋旅館



どちらも最大級のメスの剥製。見学の際は受付に一言断って!

奥多摩湖畔

山のふるさと村 ビジターセンター



大きな牙と冬毛が特徴的なオスイノシシの剥製。頭骨の骨格標本もあり、どちらも触れる。イノシシを多面的に観察できる!

檜原 都民の森



ウリ坊の剥製と瓜の紙粘土模型を併せて展示している。なぜウリ坊と呼ばれるのかよくわかるユニークな展示!

奥多摩の野鳥

■ヤマシギ

Vol.114



漢字名：山鶺
チドリ目/シギ科

レア度 ★★★★★

大きさ 全長 34cm

なき声 「ブー ブー チキッ」

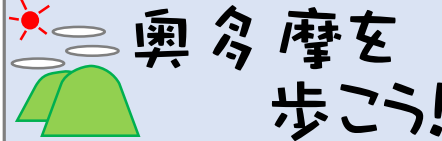
特徴 雌雄同色。頭に太くて黒い帯がある。全体に黒、白、茶の斑紋が点在し、まだら模様。枯葉にまぎれると保護色となる。

メモ 冬は1羽で行動することが多い。広葉樹の林などに生息している。休耕田や湿地などでミミズや昆虫を捕食する。日中はあまり動かず、鳴かないため見つけにくい。

どこで観察できる?

国内：全土に分布(北から南へ夏鳥、留鳥、冬鳥となる)。

奥多摩：丘陵部の湿地で観察されるが、これまでの記録は極少ない。



★身近なようで意外と知らない野生動物

ニホンイノシシ



土の中の食べものが好きなの。

木の实

根っこ

ミミズ

芋類

幼虫

東京都 奥多摩ビジターセンター

URL : <https://www.tokyo-park.or.jp/nature/okutama/index.html>

住所：東京都西多摩郡奥多摩町氷川171-1

電話：0428-83-2037

公益財団法人 東京都公園協会

お客様サポートセンター (協会の事業全般に関するお問い合わせ)
電話：03-3232-3038 ※8:30~17:30 (土日・祝日・年末年始を除く)

“イノシシ”とは？

イノシシ(ニホンイノシシ:学名 *Sus scrofa leucomystax*)は、北海道を除く各地に生息しています。里山の雑木林や山地の広葉樹林に棲み、植物の根や茎、どんぐりなどの実のほか、ミミズや昆虫なども食べる雑食性です。芋類も好物なため、奥多摩町では作物が被害にあうことも。

(30年度4月~12月までの町役場への被害通報件数29件) 夜行性ですが、昼間に行動することもあります。メスは子どもと群れを作り、オスは単独で行動します。



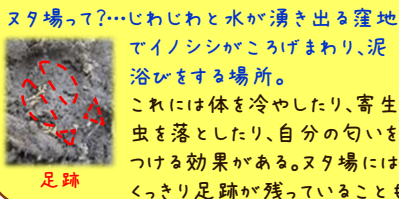
どこにいるのかな? 奥多摩のイノシシ

奥多摩では標高の低いところから高いところまでイノシシの痕跡があり、**全域に生息**しています。土耕跡、スタ場、足跡などを見つけたら、それはイノシシが生息している証なのです!

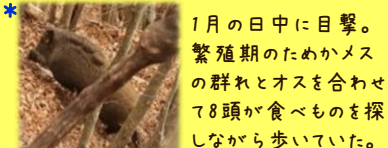
千本ツツジ(標高約1700m)で土耕跡を発見!



羽黒三田神社(標高約500m)でスタ場を確認!



小河内峠(標高約1000m)にイノシシの群れがいた!



登計トレイル(標高約400m)で土耕跡を発見!



*は、東京都レンジャー写真提供
 情報提供: 東京都レンジャー、羽村市動物公園、日原森林館、山のふるさと村、檜原都民の森、奥多摩町役場
 参考文献: 小宮輝之(2016年)『くらべてわかる哺乳類』山と溪谷社、吉岡本井ほか(2014年)『小学館の図鑑NEO 動物』小学館

いろいろ聞いちゃおう!イノシシにインタビュー!

野生動物の中でも身近な存在のイノシシですが、意外とその生態は知られていないようです。そこで猪突猛進、イノシシさんに突撃インタビュー!してみました。

こんにちは。今日はイノシシさんにインタビューということで、根掘り葉掘りお尋ねしようと思います!よろしくお願いします。

毛? ああ、冬はふさふさ、夏はみじかめよ。抜けかえる夏の時期はブタのようにつるつるにもなるわ。



はじめまして! どんどん聞いてちょうだい。私たちはよく里山に出没するし、昔から人間とお付き合いしてきたから、あんまり珍しがられないの。でも、意外な素顔も結構あるのよ。

ブタのように、ですか! やはり1万年前の祖先は同じただけありますね。では、次は寿命と出産経験についてお聞きします。ちなみにお歳は...?

では早速、イノシシと言えは口から飛び出した牙が特徴的ですが...おや、イノシシさん、あんまり牙が見えませんか!?

それはそうよ! だって私はメスなんだから。イノシシといえば「牙」と思われるけど、あんなに突き出ているのはオスだけよ。きっとメスをめぐる戦う時に使うんじゃないかしら。



オスの牙(犬歯)

それから、歯を使って土を掘ると思われているけど、実際は鼻で掘るのよ。

まあ! メスに歳を聞いてはいけなわ(笑)。野生では5年くらい、飼育下では最高20年くらいよ。私のは...もちろん秘密よ。出産は、年に1回春から夏にかけてで、一度に4.5頭産むわ。知っているかもしれないけど、赤ちゃんは毛の模様が瓜みただからウリ坊と言われてるわ。この模様は森の木漏れ日の中で見つかりにくいよ。だいたい4カ月で模様は消えるのよ。ウリ坊



そうなんです! 柔らかそうな鼻に見えますが。

生後4カ月くらいまでの赤ちゃんがウリ坊なんですわね。どうりで、かわいいはずです。では最後に、何か人間に伝えたいことはありますか?

実際は筋肉がムキムキで結構硬いのよ。食べもの探しのためなら、かなり大きな石、重さ60kgくらいだったら動かしちゃうんだから。

そうね。私たちは体も大きいし力もあるから乱暴な動物だと思われがちだわ。でも、すごくシャイであえて人間と戦おうとは思っていないのよ。

なるほど。好物も土の中に多いから、「掘る」力が強いんですね。それではもう一つ、外見上のことをお聞きします。「毛」についてなのですが...

これからもよろしくね!

こちらこそよろしくお願いします! Thank you!

上に続く